

令和元年度「測量の日」における功労者感謝状の贈呈について

国土地理院では、測量・地図に対する国民の一層の理解と関心を高めることを目的として、平成元年度から、測量・地図に関する普及・啓発に顕著な功績のあった個人又は団体に対し国土地理院長から感謝状を贈呈しています。

今年度は、以下の1個人・1団体の方々に感謝状を贈呈します。

(個人・団体五十音順 敬称略)

【個人】

◆むらやま村山 ともこ朝子 (茨城大学教育学部教授)

村山朝子氏は、いばらき児童生徒地図研究会会長を平成24年(2012)から現在(令和元年(2019)5月時点)に至るまで勤められている。また、平成31年1月5日からは、全国児童生徒地図作品展連絡協議会長にも御就任いただいている。

このように、茨城県全域の児童を対象とした地図教育に邁進されると共に、全国児童生徒地図作品展連絡協議会の発展運営にも多大なる功績をあげられている。

【団体】

◆こうえきざいだんほうじん公益財団法人 かまだきょうさいかい鎌田共済会 きょうどはくぶつかん郷土博物館 (理事長 鎌田 武雄)

鎌田共済会郷土博物館は、香川県内を中心に収集した古文書、絵図類、工芸品など約6万点を収蔵し、無料で広く市民へ公開している。なかでも江戸時代に天文学、測量の分野で活躍したくめみちたか久米通賢に関する古文書や精緻な地図、自ら発明した測量機器等は貴重なものとして展示されており、国指定の重要文化財にも指定されている。

このように、久米通賢の功績を広く紹介することを通じて、地域における測量・地図の普及・啓発に多大な貢献をしている。